

「千葉市下大和田谷津」が自然共生サイトに認定されました！**～市内4カ所目の認定～**

千葉市では、本市が保全を進めている下大和田（猿橋）地区の谷津田について、同地で保全活動を実施するNPO法人ちば環境情報センターの申請により、令和8年6月に環境・農林水産・国土交通大臣から「自然共生サイト」として認定されましたので、お知らせします。

また、認定証授与式が7月29日（水）にさいたま市にて行われますので、併せてお知らせします。

1 自然共生サイトの名称

千葉市下大和田谷津（若葉区中野町30-2ほか）

2 千葉市下大和田谷津の概要

本市では、土地所有者等の協力を得て、市の原風景であり、多様な生態系を有する「谷津田」の保全を進めており、「千葉市下大和田谷津」はそうした谷津田のうち代表的なもののひとつです。

里山林、田んぼなど二次的自然環境に多様な生態系が広がり、希少種を含む植物、昆虫、両生類、爬虫類、ほ乳類、鳥類等多くの生きものの生育・生息が確認されています。1年を通して自然観察会が開催され、市民と自然のふれあいの場となっています。



千葉市下大和田谷津

3 国による認定証授与式**(1) 日時**

令和8年7月29日（水）13:30～16:00

(2) 場所

さいたま新都心合同庁舎1号館5階（埼玉県さいたま市中央区新都心1-1）

(3) 関東環境局ホームページ

【URL】https://kanto.env.go.jp/topics_00488.html

**4 市ホームページでの公表**

【URL】<https://www.city.chiba.jp/kankyo/kankyohozen/hozen/shizen/shizenkyousei.html>



<参考>

1 自然共生サイトについて

環境省では、令和5年3月に決定された生物多様性国家戦略において、生物多様性の損失を止め、回復軌道に乗せること（＝ネイチャーポジティブ）を令和12（2030）年までに実現するため、同年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全することを目標（30by30目標）としています。



30by30 アライアンス ロゴマーク(環境省)

これを達成するため、環境省は令和5年度から「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を「自然共生サイト」に認定してきました。

令和7年4月には、自然共生サイトを法制化した地域生物多様性増進法が施行され、令和8年6月末現在で計610カ所が自然共生サイトとして認定されています。

市内では、「植草共生の森」（若葉区小倉町）、「堂谷津の里」（若葉区谷当町）、「坂月川ビオトープ」（若葉区小倉町）に続き4カ所目となります。

2 NPO法人ちば環境情報センターについて

平成8年に発足。平成26年に本市と活動協定を締結。発足以来約30年にわたり谷津田の保全や生物のモニタリング調査、自然観察会等による環境教育を行っています（令和8年6月末会員数129人）。

○ホームページ

【URL】 <https://www.ceic.info/>

